



# たかまつ

練馬区立高松小学校 校報 特別号

TEL3999-3376

<http://www.takamatsu-e.nerima-tyky.ed.jp/>

学校の教育目標

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

●たくましい子

今回の特別号では、2つの調査の結果と分析、学校としての取組をお伝えします。

- 1 令和3年1月実施 「学校生活アンケート」(全児童対象)  
及び令和2年12月実施「学校教育に関するアンケート」(保護者対象)
- 2 令和2年12月実施「学校経営計画に基づく自己評価」(教職員対象)

そして、上記について学校評議員の方にいただいたご意見を「3 学校評議員のご意見」として掲載します。

## 1 「学校生活アンケート」(全児童対象)及び「学校教育に関するアンケート」(保護者対象)

### (1) 質問項目

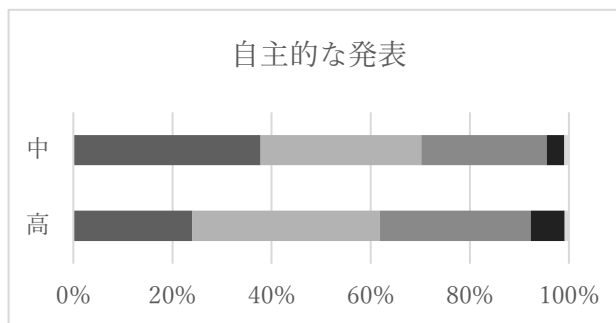
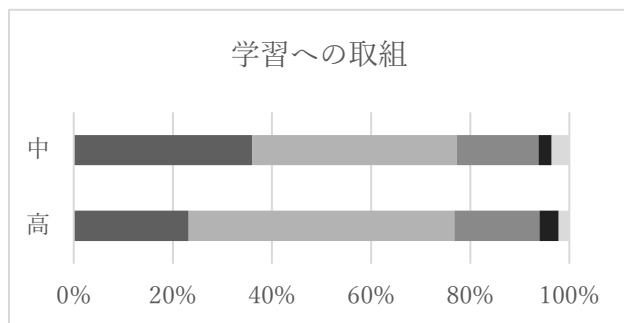
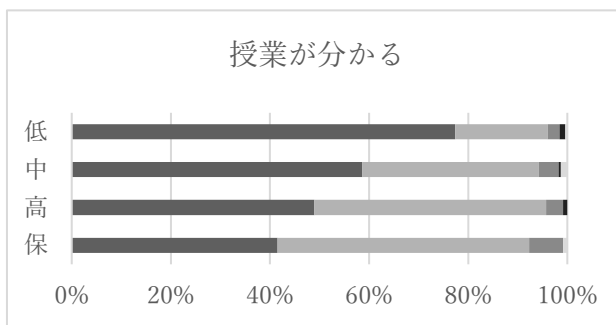
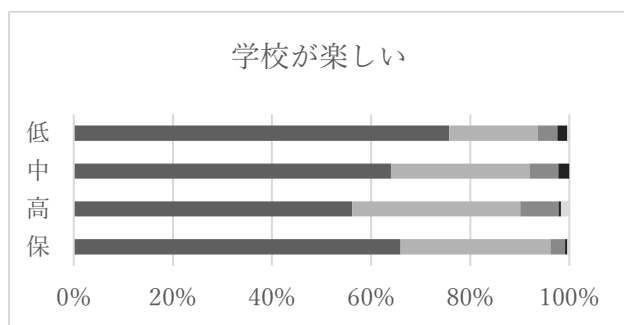
このアンケートでは低学年は7つの、中・高学年は15の質問をしました。また、保護者の皆様には児童に行った質問に関係するものを中心とする30の質問をしました。回答率は全家庭数の89.8%(513家庭)でした。

グラフの凡例は、左から順に次の5つになっています。

- 1 : よく当てはまる/そう思う ■■■■      2 : やや当てはまる/ややそう思う ■■■
- 3 : あまり当てはまらない/あまりそう思わない ■■■
- 4 : 全く当てはまらない/全くそう思わない ■■■■      5 : 分からない/無回答 ■■■■

以下、項目順に見ていきます。なお、記載する質問文は中高学年向けのものです。低学年は易しい文面で書かれていますが、内容は同じです。

### ① 学校と授業に関するもの

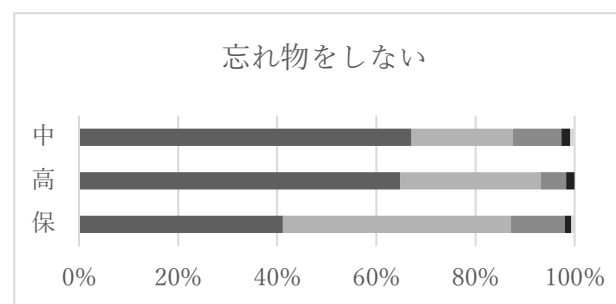
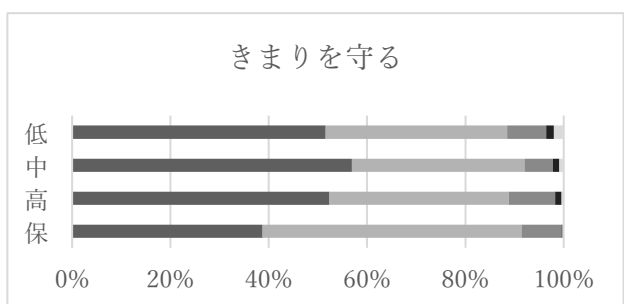
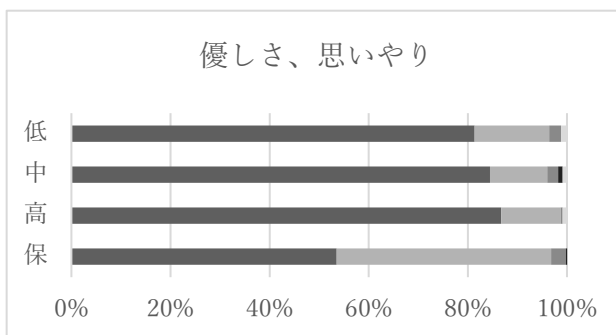
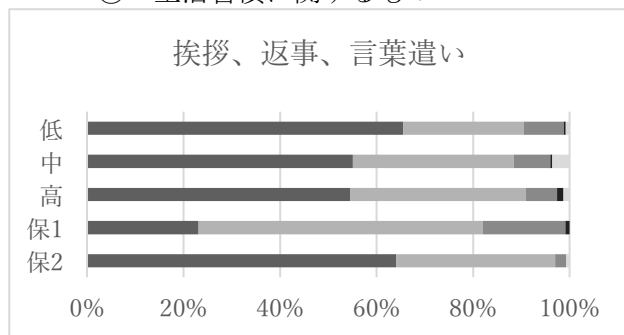


「学校は、楽しいですか」にはどの学年の児童も高い満足度を示しました。また、保護者の皆様の肯定的な評価が昨年度にくらべて20%ほど向上しました。コロナ禍の中での教育活動を評価していただき

たものと感謝しております。なお、否定的な答えをした児童は各学年に若干名います。個別の悩みについて対応していきます。

授業については「内容はわかりましたか」では昨年同様、高い評価となりました。「学習中、めあてをもち、分からないことを分かるまで粘り強く取り組んでいますか」はそれにくらべると若干低くなっています。一方「学習中、自分から意見を書いたり、発表したりしていますか」では昨年度に比べて否定的な評価が下がっています。今年度、本校では校内研究で「共に学び自らを高めていく子供の育成 ～ 説明的文章を通して考えを深め表現する中で～」というテーマで研究を進めてきました。その中で児童が表現に対する苦手意識をなくしてきているのではないかと考え、嬉しく思っています。

## ② 生活習慣に関するもの

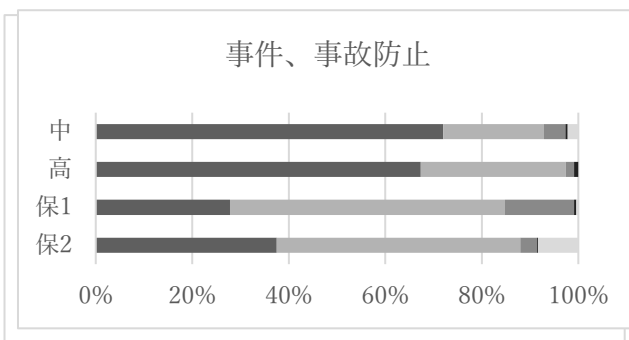
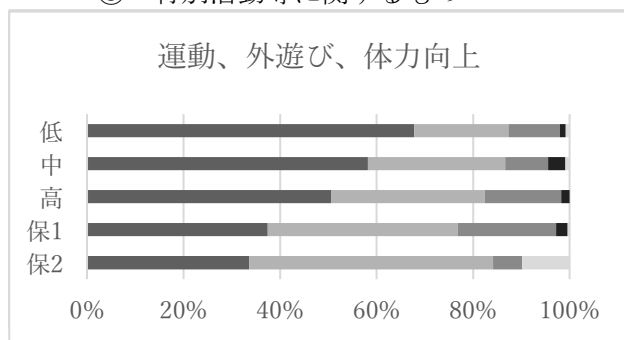


「すすんであいさつや返事、ていねいな言葉遣いをしていますか」については、学年が上がるにつれて自己評価が厳しくなっています。しかし、高学年は昨年度に比べて肯定的評価が10%以上増えました。あわせて保護者の方の評価（保1「あいさつや返事、言葉遣いがきちんとしている。」）も昨年度比20%以上肯定的な評価が増えました。保2「家族で互いにあいさつをするようにしている。」も含め、ご家庭でのご指導が反映されているのではないかと考えています。

「友達を大切に、仲良く生活していますか。」は、低学年から高学年まで自己評価が高く、私たちにとっても大変嬉しい結果となりました。

「きまりを守って生活していますか。(廊下の右側歩行、登下校時の校帽着用)」「学習用具など忘れ物をしないように気を付けていますか」についても、児童は肯定的に評価しています。ただし、実際の生活を見ていると着帽については高学年女子中心に、廊下歩行については学年性別を問わず課題があると考えています。

### ③ 特別活動等に関するもの



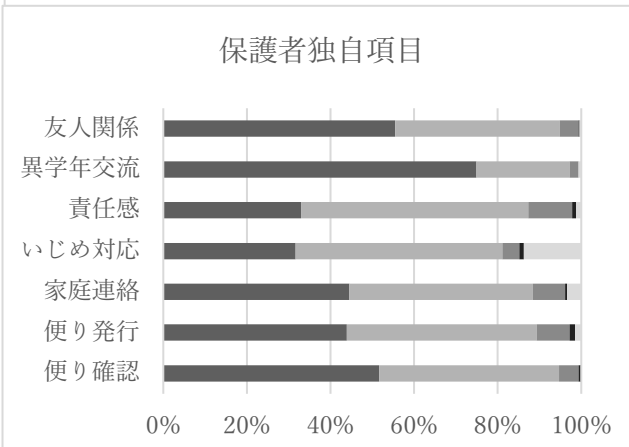
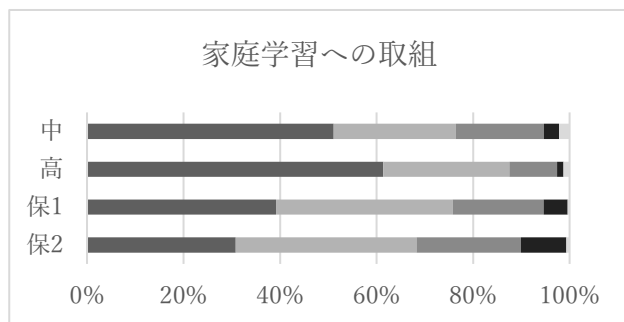
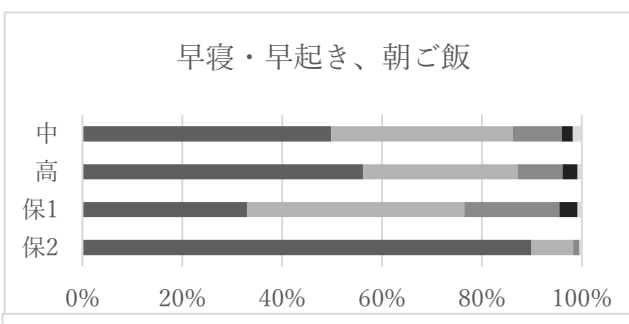
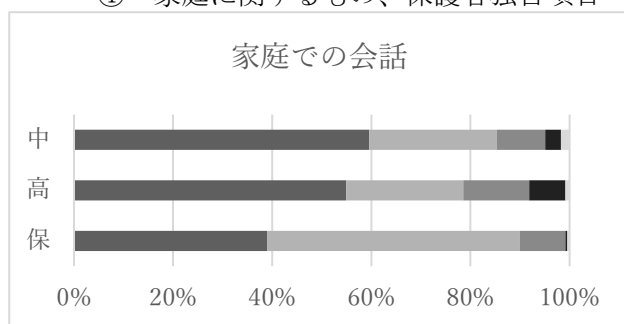
「すすんで体を動かし、外遊びをしていますか」については、低中学年で肯定的な評価が減りました。コロナ禍のため、遊び方も遊ぶ機会も制限される現状では仕方がないところかと思えます。そんな中でも高学年は昨年度より肯定的な評価が若干ですが増えました。保1「外遊びを行う」、保2「体力向上に向けた授業や教育活動の実施」とも高い評価をいただきました。感謝申し上げます。

「すすんで読書をしていますか」では、各学年とも低高学年が昨年同様、中学年が昨年度に比べて10%ほど厳しい評価になりました。保1「読書に親しむ」、保2「学校や地域図書館の利用」双方で、否定的な評価が多いのも昨年同様です。大人が読書をする姿を示すことで、子供に読書の習慣を根付かせたいものです。

「係や委員会の仕事など最後まで責任をもって取り組んでいますか」では中・高学年とも非常に高い結果となりました。緊急事態宣言のため異学年交流が禁止されている今ですが、その中でも児童はそれぞれの仕事に取り組んでいる様子が見えます。

「事故や事件、災害の時の行動」については、今年度、密を避けるため避難訓練があまりできていないにも関わらず、児童の理解度は下がっていませんでした。これまでの積み重ねが身に付いているのだと安心しました。保1「危険時の行動の確認」、保2「子供の安全についての学校の取組」については、いずれも昨年度から20%近く肯定的な評価が増えました。昨年度、ご家庭での話し合いをお願いしたことを受け止めていただき、ありがたく思っています。

### ④ 家庭に関するもの、保護者独自項目



次に、主にご家庭に関わる項目と、児童アンケートにはない、保護者の皆様独自の項目です。「学校の話をする」では、児童より保護者の方が肯定的な割合が高いものの、どちらも肯定的だったことが分かります。「ステイホーム」が一因かは分かりませんが、親子の会話がたくさんあるのはいいことだと思います。

「早寝・早起き、朝ご飯」は、児童には一つの質問で、保護者の皆様には「早寝・早起き」(保1)と「朝ご飯」(保2)に分けて聞きました。一説には頭が働き始めるのは起床2時間後だそうです。できる限り早い時間の起床にご協力いただければ幸いです。

「家庭学習に(学年×10+10分程度)取り組む」(保1)「宿題の他に家庭学習をする」(保2)は他の項目に比べ、やや厳しい数値であるものの、昨年度よりは大きく改善しています。

なお、昨年度の保護者アンケートでは「よく当てはまる」が特に少ないもの(20%以下)が5項目ありましたが、今年度は一つもありませんでした。

## (2) 自由意見

保護者アンケートで寄せられたご意見をご紹介します。複数の方から寄せられた意見を中心に上げ、内容を損なわない程度に一部省略や統合をしてあります。その上で内容別に小見出しを付けました。凡例は以下の通りです。

○：好評価      ●：要改善      →：学校からの回答

### ① 教育活動全般

- 担任の先生を信頼している娘です。友達とだけでなく、先生とも信頼関係がしっかりできているので、大変嬉しく思います。
- コロナ禍で大変な中、高小フェスティバルや体育科学習発表会などで子供たちが楽しんだり頑張ったりする時間も設けていただいて、先生方には感謝の思いでいっぱいです。
- 今年はコロナ対策で先生方もとても大変だったと存じますが、おかげさまで娘は楽しく、勉強もつまずくことなく元気に学校で過ごせました。先生方、職員の皆様には本当にお礼を申し上げたいです。
- 子の特性をよく理解して関わってくださりありがとうございます。この頃子供から少しずつ学校が楽しいという言葉が出てきました。
- 特に今年はコロナの影響があり、家庭としては、学習面はもちろん、生活面でも先生方の有り難さを改めて感じた一年でした。
- 今、各地でいじめが問題になっていると思います。クラス全員で、子供同士で考えてみる授業をして欲しいです。  
→毎年、すべてのクラスで行っています。内容はお子様にお聞きください。
- 宿題をもっと出してほしいです。宿題がない日も結構ありますが、課題でも良いので、もっと出して欲しいです。
- 宿題が多すぎます。少なくすることもご検討ください。  
→それぞれのご家庭の考え方や習い事の有無により、双方のご意見があります。
- もうちょっと教員を増やし、できる子もそうでない子もきめ細やかに見てほしい。特にできない子には時間をかけてみてほしい。  
→教員の定数は法律により決まっております。学校で対応できる問題ではありません。ご了承のほどお願いいたします。また、各教員は決められた時数で決められた範囲を進めていかなくてははいけません。その中でできる限りの個別対応をしていると考えております。ご理解ください。

### ② コロナ対応

- 夏の炎天下でのマスクをしての登下校が心配だった。日傘をさすなどの対策を呼びかけてほしかった。

→それについても検討しましたが、傘で遊ぶなどの危険性等も勘案した結果、マスク対応としました。

- 休校期間にオンライン授業を進めてほしかった。公立だから仕方ないのかもと思いますが。→教育委員会の指導の下、児童一人一人にタブレットを配布・貸与しました。
- コロナの時期に、使い古した雑巾を荷物と一緒に各個人の机に引っ掛けています。医療機関では使いまわしのタオル類をかけておくことは推奨されません。ご配慮いただけますと幸いです。→これについては区の教育委員会から示されたガイドラインに沿って行っています。今後も清掃後の手洗い・消毒を徹底していきます。
- 学年を超えた関わりを減らし学年をまたいだ、感染防止策を検討して欲しい。→現在、異学年交流は中止しています。引き続き、感染拡大状況を見ながら判断していきます。

### ③ 情報発信

- 近所の保護者の方から、学校公開や行事がなく、学校の様子が全くわからないとお話を何度かお聞きしました。ホームページの更新をもう少し早くして頂けると嬉しいです。
- 高松小学校の給食がどんなものかわからないのでホームページに載せていただくと、子供がどんな物を食べているか様子がわかるので月一でもいいので載せてほしいです。→今年度は学年によって発信にばらつきがありました。次年度はホームページの更新頻度を上げて参ります。給食については不定期ですが写真とメニューと載せて参ります。

### ④ 学校外、その他

- 下校時、東門から勢いよく飛び出してくる児童をよく見かけます。車や自転車、歩行者の方とぶつかりそうで非常に危険です。東門を利用する児童に定期的に注意を促していただきたいと思います。→ありがとうございます。注意を促します。
- 道路でボールを蹴ったり、バスケットボールをドリブルしたり、キックボード、水鉄砲遊びなどに、困惑したことがあります。学校の外の話なのに誠に申し訳ございません。→具体的に分かりましたらお伝えください。担任を通じて指導いたします。また、このように「学校の外の話なのに」とお書きいただくとありがたいです。各ご家庭でのご指導もよろしくお願ひします。
- 学校行事に参加する際の人数に、幼児を含むか含まないかはっきり記載していただけるといいかと思います。→コロナのこともありますので、できるだけ分かりやすい表記に努めます。
- 登校班の継続について検討してほしい。→「登校班や兄弟学年遊びなど学年を越えた活動は良い活動だと思う。」について、「よく当てはまる/そう思う」(74.8%)、「やや当てはまる/ややそう思う」(22.2%)と97.0%の方が支持をしています。大勢が変わらない限り継続します。ただし、コロナウイルス感染拡大状況によっては、今年度のように一時中止をいたします。

## 2 「学校経営計画に基づく自己評価」(教職員対象)

私たち教職員は、本校の教育活動についてどのように考えているのか。年度初めに皆様にもお示しした「学校経営計画」に基づき、自身の教育活動を振り返っています。

評価項目は「A 確かな学力の育成、B 豊かな心の育成、C 体力・健康の増進、D 信頼される学校づくり、E 人材育成・組織力の向上」からなる34の質問と、児童についての2つの質問の計36の質問があり、それぞれについて「取組」と「成果」に分け、1～4の4段階評価で答えます。

「取組」の平均値は3.46(昨年度3.17)で、「成果」の平均値は3.29(同3.27)でした。「取組」としては昨年度より向上したものの、「成果」については昨年度よりわずかに向上したという判断です。新

型コロナウイルスにより多くの制限がある中、精一杯の活動に取り組んだ表れと考えますが、いかがでしょうか。

それぞれの項目について、平均値より上か下かで教職員の意識を分析するとともに、保護者の皆様の回答と重なるのか、ずれがあるのかを見ていきます。

項	目	番	質問	取組	成果
A 確かな学力の育成	○学習規律の確立	1	チャイム着席の徹底、目と耳で話を聞く姿勢の定着	3.60	3.16
	○基礎基本の定着	2	授業時数を十分確保し、指導計画に基づいた指導による学習内容の定着	3.58	3.33
		3	児童の家庭学習の推進	3.64	3.27
	○児童の主体的・対話的な学習	4	教科の特性に応じた問題解決学習や、資質や能力に応じて意欲を喚起し主体的・対話的に学ぶことのできる学習の充実	3.33	3.17
	○個に応じた指導の充実	5	3年から6年算数の習熟度に応じた少人数指導の充実	2.92	2.83
	○言語活動の活性化	6	言語環境の整備、話し合い活動、書く活動の重視	3.54	3.25
	○小中一貫教育の推進	7	校区別協議会への参加と小中、幼小の連携	2.70	2.50
			Aの平均	3.33	3.07
B 豊かな心の育成	○人権教育、道徳教育の充実	1	「特別の教科道徳」に向けた授業改善、道徳教育全体計画の別葉の充実道徳授業地区公開講座の改善	3.33	3.29
		2	異学年活動（兄弟学年遊び、なかよし班）の充実	3.50	3.42
		3	オリンピック・パラリンピック教育の充実	2.73	2.40
	○生活指導の充実	4	5つの「あ」の徹底（あんぜん、あいさつ、あつまり、あとしまつ、ありがとう）、正しい廊下歩行の徹底	3.52	3.12
		5	清掃活動、校内美化等の校内環境の整備、施設の安全確認	3.50	3.29
	○読書活動の充実	6	図書的时间、教科指導、年3回の読書月間における読書指導の充実	3.41	3.32
	○体験的活動の充実	7	体験活動（栽培・飼育）による生命尊重、感動する心の育成	3.27	3.18
○特別支援教育の推進	8	児童理解研修・特別支援教育研修会の実施	3.50	3.35	
			Bの平均	3.35	3.17
C 体力・健康の増進	○食育の推進	1	栄養士と連携を図りながら食への関心を高め食育を重視	3.44	3.21
	○体力づくりの推進	2	体育授業の充実と外遊びの励行（体育的活動、体育的行事を含む）、体力テストの結果を踏まえた取組	3.36	3.14
		3	家庭と連携し「早寝、早起き、あさごはん」生活リズムの確立	3.32	3.08
	○保健指導の充実	4	健康に関する知識・理解と健康的な生活の自主的な実践	3.58	3.33
	○安全指導の充実	5	全校体制による安全指導、セーフティ教室・交通安全教室等、外部と連携を図った安全指導の充実	3.52	3.40
	○防災教育の徹底	6	毎月の避難訓練や震災に備えたマニュアルの指導、引き渡し訓練の実施	3.40	3.28
			Cの平均	3.44	3.24
D 信頼される学校づくり	○いじめ、不登校、虐待の対応と予防	1	いじめの未然防止と早期発見のための職員の組織的連携の強化	3.68	3.64
	○危機管理の向上	2	安全指導、環境整備による事故の未然防止、休憩時や隙間の時間の看護の徹底	3.64	3.36
		3	個人情報保護の徹底	3.88	3.80
	○家庭、地域との連携	4	行事アンケート、学校評価の活用、学校関係者評価委員会の充実	3.47	3.28
	○地域人材の活用	5	畑指導・たくあん漬け／クラブ活動へのプロ導入	3.80	3.67
	○他校、関係諸機関との連携	6	近隣の高齢者施設や幼稚園、保育園等の交流活動	3.25	2.86
	○情報提供、HPの充実	7	土曜日学校公開・校報の地域配布・HPによる発信・各文書の充実	3.46	3.38
			Dの平均	3.60	3.43

E 人材育成・組織力の向上	○授業力の向上	1	PDCA サイクルによる学習指導の工夫改善	3.54	3.21
		2	校内研究の組織的な関わり方の充実	3.42	3.38
		3	週案、各種日誌の提出と情報の共有	3.71	3.67
		4	校内 OJT の推進（全職員による若手教員の育成の日常化、管理職・学年による授業観察）	3.46	3.46
	○組織運営の活性化	5	学年会・専科会の確保と充実	3.68	3.64
	○サービスの厳正	6	服務研修とサービスの厳正化（体罰・個人情報流出・セクハラ等）	3.81	3.81
E の平均				3.60	3.53
児童は、楽しく学校に通っている				3.63	3.48
児童は、授業を楽しみにしている				3.46	3.39

まず、この自己評価の「成果」で平均が高い順に 5 項目並べると、次のようになりました（3、4 番と 5、6 番は同点だったため 6 項目）。

1 服務研修とサービスの厳正化（体罰・個人情報流出・セクハラ等）	3.81
2 個人情報保護の徹底	3.80
3 畑指導・たくあん漬け／クラブ活動へのプロ導入	3.67
3 週案、各種日誌の提出と情報の共有	3.67
5 いじめの未然防止と早期発見のための職員の組織的連携の強化	3.64
5 学年会・専科会の確保と充実	3.64

これを見ると、保護者の皆様の目には触れにくい項目が多く、なかなか伝わりにくいだろうと思います。唯一関連する「いじめ対応」では、教職員は高い成果を見ている一方、保護者アンケートでは肯定的な評価が 25 項目中 18 位となっています。18 位といっても肯定的な評価は 80.9%ですので、必ずしも悪い数値ではないと思いますが、改善の余地があると考えます。今後とも、いじめは重大な人権問題という意識の元、教職員が一丸となっていじめの未然防止および早期解決に努めて参ります。

次に、逆に平均が低い順で並べると、次のようになりました。

1 オリリンピック・パラリンピック教育の充実	2.40
2 校区別協議会への参加と小中、幼小の連携	2.50
3 3 年から 6 年算数の習熟度に応じた少人数指導の充実	2.83
4 近隣の高齢者施設や幼稚園、保育園等の交流活動	2.86
5 家庭と連携し「早寝、早起き、あさごはん」生活リズムの確立	3.08

5 項目中 3 項目（1、2、4）が新型コロナウイルスによる教育活動の制限を反映した結果となりました。次年度はこれらの活動ができるよう願うばかりです。

保護者と教員の両者が課題と感じているのは「早寝、早起きの習慣」（保護者 6 位、教員 5 位）でした。これは以前から引き続いての課題です。さまざまな暮らしがある中でのお願いとなり心苦しいのですが、子供の睡眠時間確保は保護者の責任です。ご協力ください。

### 3 学校評議員のご意見

新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、学校評議員の方からメールやファックスでご意見を頂戴しました。ご紹介します。

- ◇ 先生方がコロナ禍の中、校長先生・副校長先生を中心に児童一人一人に目を向けて日々指導してくださっている様子が見て取れました。
- ◇ 子供や保護者が、「明日が待たれる学校」として高松小学校を捉えていることが分かりました。
- ◇ 今年度は緊急事態宣言から始まるコロナ禍の中、おそらく外側からでは見えない部分も含めて様々

なご検討を頂きながら対応を頂いておりますことに感謝申し上げます。

- ◇ 先生方が、「知・徳・体」のバランスの取れた子供を育成してくという意識の高さを感じました。
- ◇ 校長先生リーダーシップの下、「学校経営計画」を具現化してくださる副校長先生がおられ、先生方が「チーム」の一員として自分の力を発揮している姿が見えました。
- ◇ 行事中止や縮小となり、不便な生活が続く中でも「学校が楽しい」という子供達が多いのは、学校として様々な工夫をして頂いている賜物であろうと思っています。
- ◇ 参観日や行事など学校での生活を見る機会が少ない期間が今しばらく続くと思いますが、特に入学直後の1年生（これまで保育園や幼稚園で様子を見る機会が多かった）ではその様子を知りたいと思われることが多いかと思っています。
- ◇ タブレットも配布になりオンラインへのアクセス手段も最低一つは確保できる状態でもあるかと思っていますので、記載の中にありました情報発信（行事予定・行事の様子）などについて、是非、学校ホームページ等の活用も通じて実施頂けること期待しております。
- ◇ さかえ幼稚園の前を通る子供たちの何人かが挨拶をしてくれるので、とても心が温かくなります。

子供は、家庭・地域・学校が三位一体となって育てていきます。その過程で、育てる側の私たちもそれぞれも育っていきます。それがまさに「みんなで育てる高松の子、みんなが育つ高松小学校」です。

来年度も、ご家庭や地域のご協力を得ながら、本校の教育目標「自ら学ぶ子、思いやりのある子、たくましい子」の達成のため教育活動を進めて参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。